

以下にお示しするNACCS連携機能について2024/1/15(月)にリリースされます。

No	対応機能	内容
1	NACCS連携APIの公開 (対象追加)	サイバーポートが提供するNACCS連携APIについて、対象の業務コードを追加公開しました。

# 1. NACCS連携APIについて

## • NACCS連携APIの概要

- NACCS連携APIは、事業者が既に利用している自社のシステムから、サイバーポートのAPIを介してNACCSに通信することができます。これにより自社システムにあるデータを利用してNACCS業務を行うことができます。
- また、サイバーポート経由とすることで、他社へのデータ連携・通知等を容易に行うことができます。

No.	NACCSの利用形態	自社システム	netNACCS	専用線接続	対象	備考
1	自社システムを見ながらnetNACCSに手打ち	○	○	-	○	自社システムからサイバーポートのAPIでNACCS連携が可能に。
2	自社システムからファイル出力し、netNACCSにインポート ( <b>自動連携</b> )	○	○	-	○	自社システムとnetNACCSの使い分け、インポートの手間を削減。また連携が不完全な場合でもサイバーポートから追加入力が可能に。
3	自社システムからファイル出力し、netNACCSにインポート ( <b>手動連携</b> )	○	○	-	○	
4	紙を見ながらnetNACCSに手打ち (自社システムなし)	-	○	-	×	自社システムが無ければAPIを呼び出せないため、対象外。GUIを利用頂く。
5	自社システムが専用線接続済み	○	-	○	×	既に接続済みであれば、サイバーポートのAPI利用の必要はなし。

## 2. 対象の業務コード(公開予定:2024年1月15日~)

- 2024年1月15日より新たにAPIが公開される業務コードを以下に記載します。

ID	業務コード	業務名	業務
NR020	ACL11	ACL情報登録呼出し	呼出
NR040	BKC	ブッキング情報変更	登録
NR060	BKC11	ブッキング情報変更呼出し	呼出
NR090	ECR11	輸出貨物情報登録呼出し	呼出
NR160	BOC	搬出確認登録(輸出許可済)	登録
NR170	BID	搬入確認登録(輸出許可済)	登録
NR200	BOB	搬出確認登録(貨物引取り)	登録
NR210	BIE	システム外搬入確認(輸出許可済)	登録
NR290	CYA	CY搬入確認登録	登録
NR400	CYD01	システム外CY搬入確認(B/L単位)(事前登録)	登録
NR430	SCR	簡易貨物情報登録	登録
NR440	SCR11	簡易貨物情報登録呼出し	呼出
NR530	MSY	申告添付訂正呼出し 海上	呼出
NR560	AMB	修正申告事項呼出し 海上	呼出
NR580	AMC	修正申告 海上	登録
NR590	OLC	保税運送申告	登録
NR600	OLC11	保税運送申告呼出し	呼出
NR610	OLA	保税運送申告事項登録	登録
NR620	OLA11	保税運送申告事項登録呼出し	呼出
NR630	OLC20	保税運送申告(事項登録あり)	登録

ID	業務コード	業務名	業務
NR640	BOA	搬出確認登録(保税運送貨物)	登録
NR670	BIA	搬入確認登録(保税運送貨物)	登録
NR760	DOR	輸入貨物荷渡情報登録	登録
NR770	RSS11	輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知)呼出し	呼出
NR780	RSS12	輸入コンテナ引取予定情報選択(ID通知)呼出し	呼出
NR790	RST11	輸入コンテナ引取予定確認情報通知(ID確認)呼出し	呼出
NR800	RSS01	輸入コンテナ引取予定情報通知(ID通知)	登録
NR810	RST01	輸入コンテナ引取予定確認情報通知(ID確認)	登録
NR820	CYO	CY搬出確認登録	登録
NI120	IWS	貨物在庫状況照会	照会
NI130	ICI	船積コンテナ情報照会	照会
NI160	IFR	フリータイム情報照会	照会
NI170	IML	出港前報告一覧照会	照会
NI180	IAR	出港前報告照会	照会

- すでにAPIが公開されている業務コードを以下に記載します。

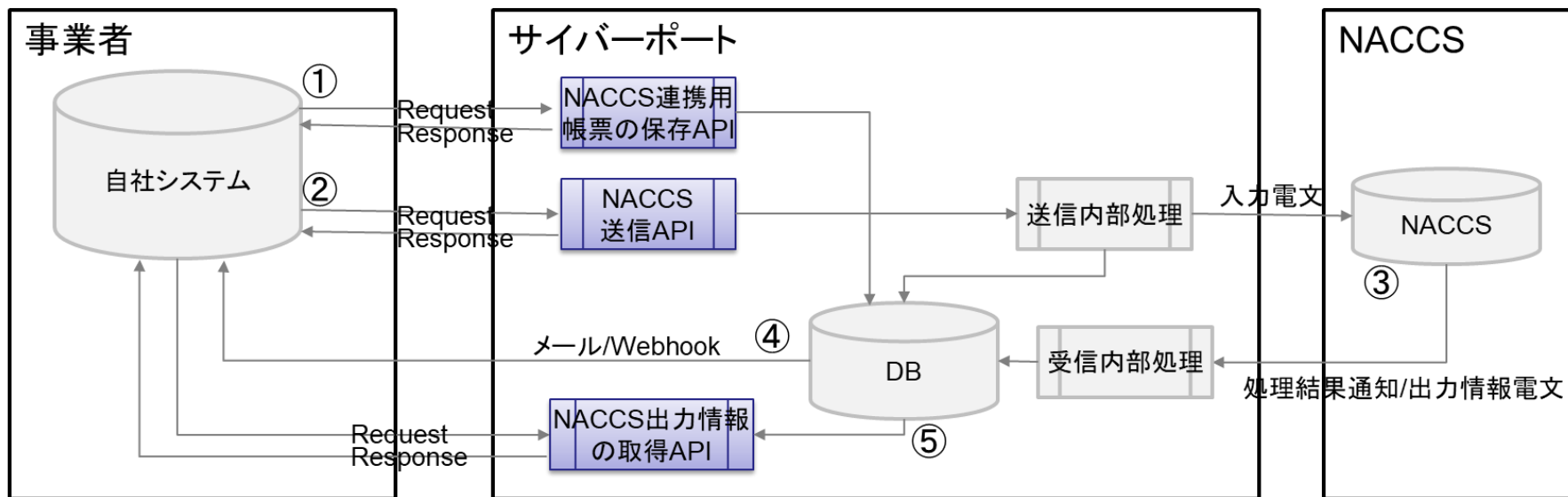
ID	業務コード	業務名	業務
NR010	ACL01	ACL情報登録(コンテナ船用)	登録
NR030	ECR	輸出貨物情報登録	登録
NR050	BKR	ブッキング情報登録	登録
NR080	BIC	搬入確認登録(輸出未通関)	登録
NR120	EDA	輸出申告事項登録 海上	登録兼呼出
NR130	EDC	輸出申告 海上	登録
NR140	EAA	輸出許可内容変更申請事項登録 海上	登録兼呼出
NR150	EDB	輸出申告事項呼出し 海上	呼出
NR180	EAC	輸出許可内容変更申請 海上	登録
NR190	EAB	輸出許可内容変更申請事項呼出し 海上	呼出
NR220	VAN11	バンニング情報登録(コンテナ単位)呼出し	呼出
NR230	VAE11	バンニング情報登録(輸出管理番号単位)呼出し	呼出
NR240	VAN	バンニング情報登録(コンテナ単位)	登録
NR250	VAE	バンニング情報登録(輸出管理番号単位)	登録
NR260	VAC	バンニング情報取消し	登録
NR460	IDB	輸入申告事項呼出し 海上	呼出
NR470	IDD	輸入申告変更事項呼出し 海上	呼出
NR480	IDA	輸入申告事項登録 海上	登録兼呼出
NR490	IDC	輸入申告 海上	登録
NR500	IDA01	輸入申告変更事項登録 海上	登録兼呼出
NR510	IDE	輸入申告変更 海上	登録
NR520	MSX	申告添付登録 海上	登録
NR540	MSY01	申告添付訂正 海上	登録

ID	業務コード	業務名	業務
NR550	AMA	修正申告事項登録 海上	登録
NR570	MSB	添付ファイル登録	登録
NI010	ICG	貨物情報照会	照会
NI020	ICN	コンテナ情報照会	照会
NI030	IID	輸入申告等照会 海上	照会
NI050	IMI	積荷目録状況照会	照会
NI080	IEX	輸出申告等照会 海上	照会
NI090	IER	為替レート照会 海上	照会
NI150	IDI	輸入申告等一覧照会 海上	照会
NI190	IES	輸出申告等一覧照会 海上	照会
NI200	IAL	ACL情報照会	照会

## 4. NACCS連携APIの利用方法

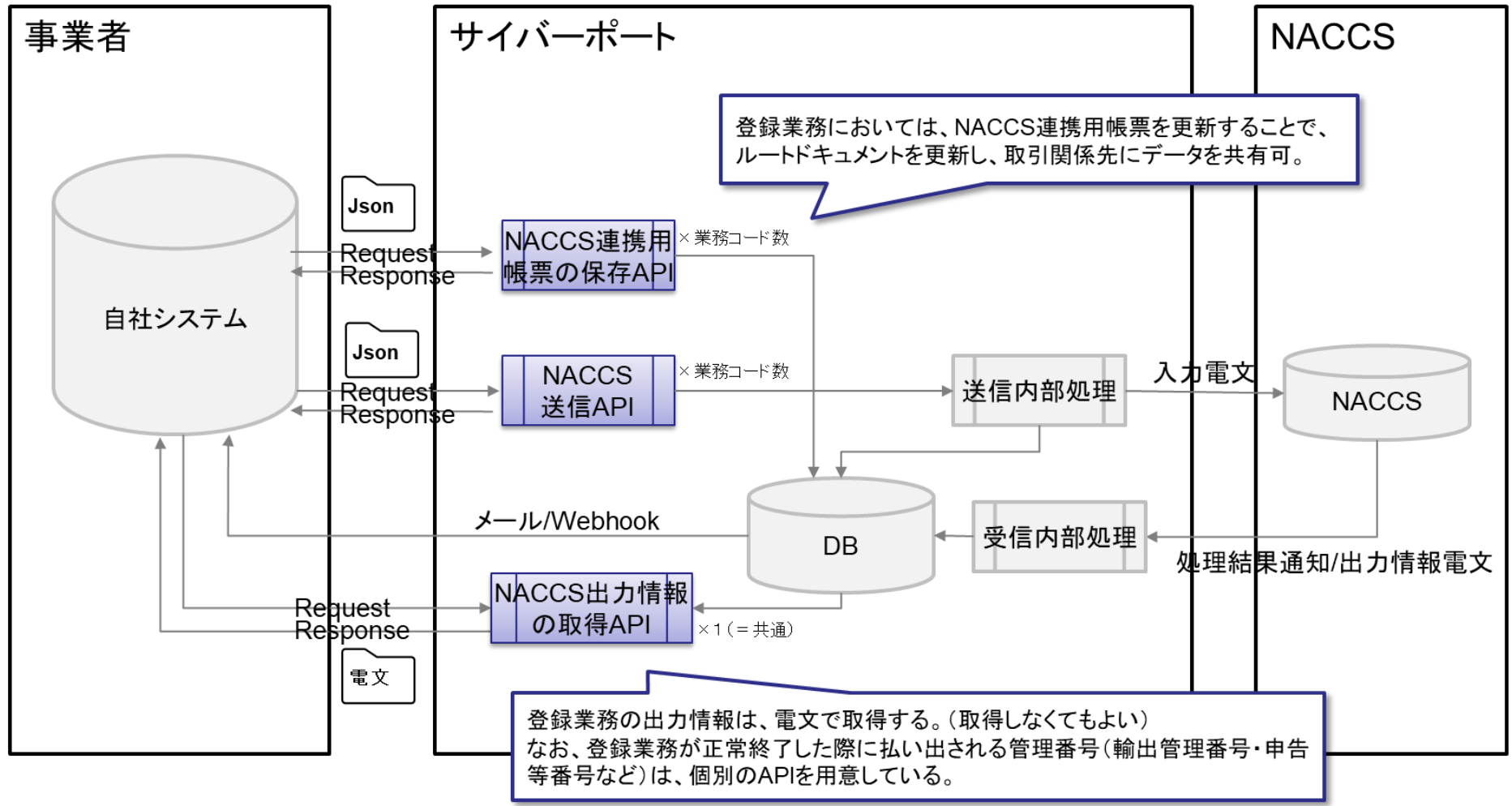
- NACCS連携APIの利用方法は以下の通り。
- ただし、(1)登録業務／(2)呼出業務／(3)照会業務で呼び出すAPIが若干異なる。詳細は次頁以降に記載する。

### 【API利用イメージ】



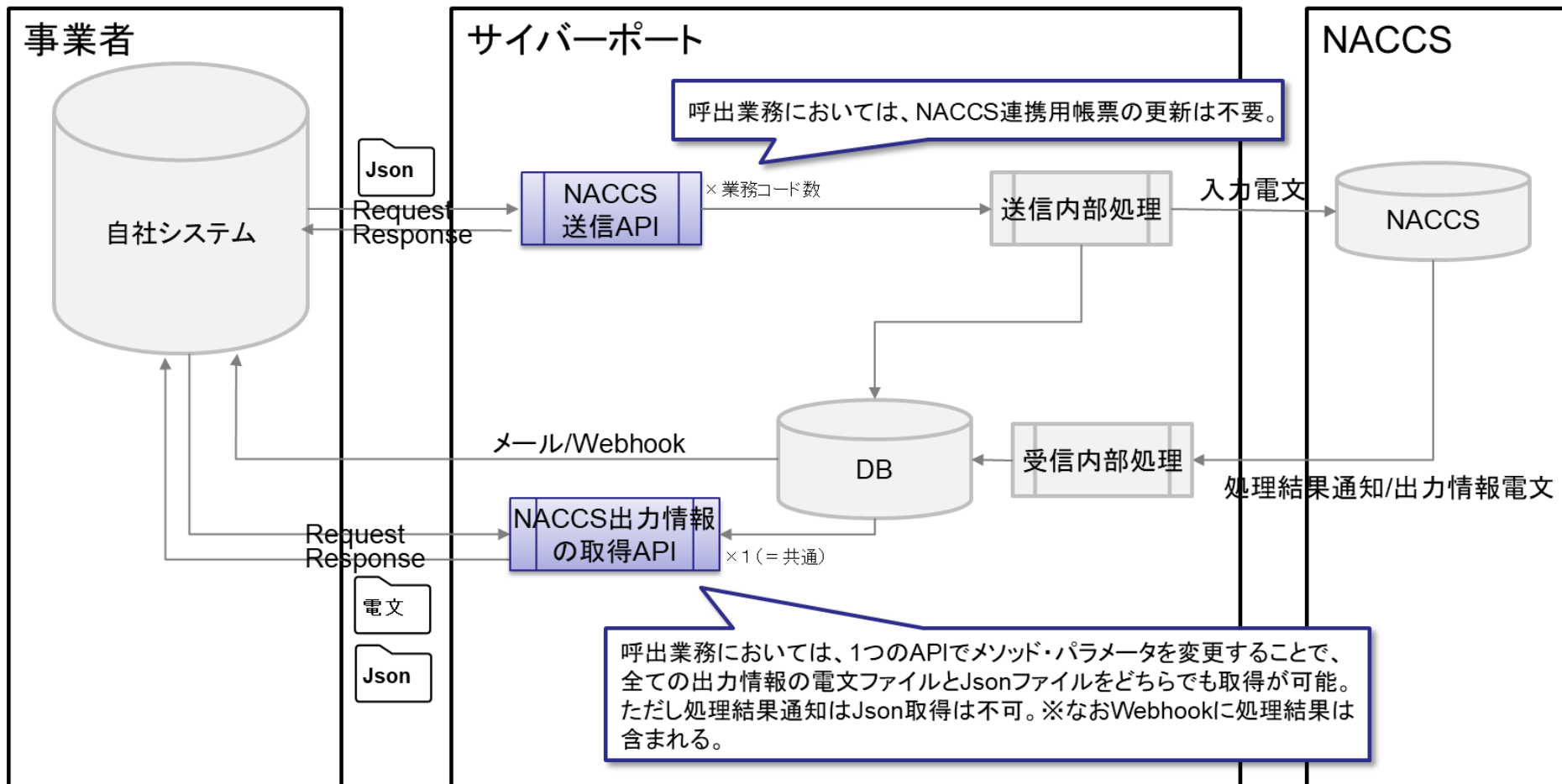
- ① 自社システムが「NACCS連携用帳票の保存API」を呼び出し
- ② 自社システムが「NACCS送信API」を呼び出し
- ③ (NACCSにて処理・サイバーポートに返却)
- ④ 自社システムがWebhookを受信 ※ここで出力情報の取得のためのキー情報を取得
- ⑤ 自社システムが「NACCS出力情報の取得API」を呼び出し

- (1)登録業務のAPIを利用した処理の流れは以下の通り。

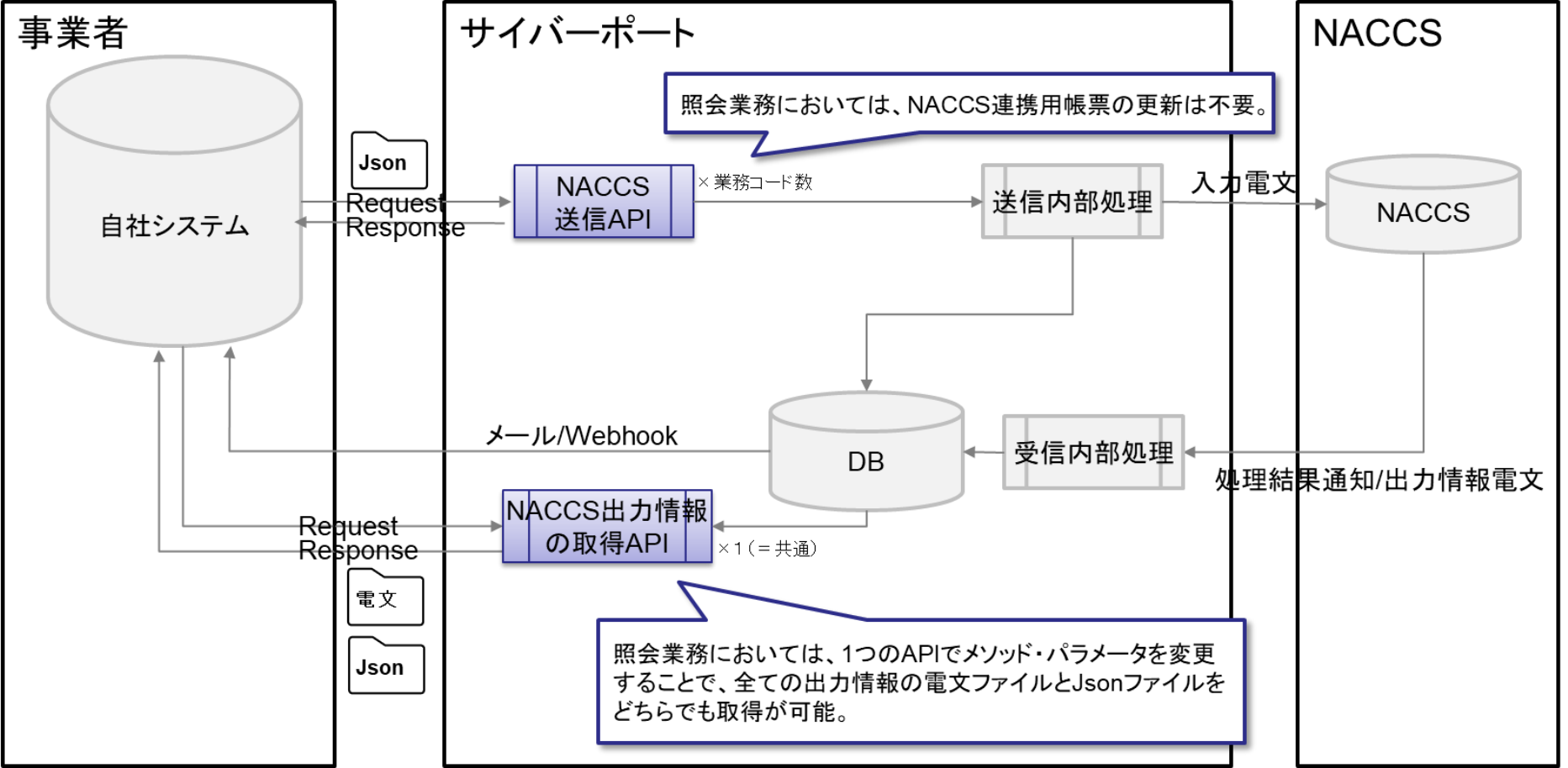


## 4-2. NACCS連携APIの利用方法 (2)呼出業務

- (2)呼出業務のAPIを利用した処理の流れは以下の通り。



- (3)照会業務のAPIを利用した処理の流れは以下の通り。





## 5. 具体的に呼び出すAPI一覧

- 呼び出すAPIを以下に記載します。

No.	項目	API ※詳細仕様はSwaggerに記載		備考
1	NACCS連携用帳票の保存API	{業務コード名(英名)}	{業務コード}	通常の帳票と同様の仕様です。業務コード毎にAPIが存在します。任意の業務コードのAPIをご利用ください。
		/API/v1/NaccsReport/{業務コード名(英名)}/Register		
2	NACCS送信API	{業務コード名(英名)}	{業務コード}	業務コード毎にAPIが存在します。任意の業務コードのAPIをご利用ください。
		/API/v1/NaccsReport/{業務コード名(英名)}/NaccsSendRequest		
3	NACCS出力情報の取得API	NaccsReceiveDat as	NACCS受信データ	EDI形式、JSON形式の2種類の形式で取得できます。
		/API/v1/NACCS/NaccsReceiveDatas/GetBy〇〇〇		
番外	NACCS情報の取得API	Common	ルートドキュメント 共通	輸出管理番号,申告等番号等、登録業務を行うことで払い出されるNACCS情報を取得します。
		/API/v1/Common/GetNaccsInformation/{dealNo}?naccsBusinessCode={naccsBusinessCode}		

